

町史編さん室だより

中学校の伊吹山登山②

広報おおぐち11月号で、中学校の伊吹山登山が昭和23年から38年まで夏の行事として掲載したところ、その記事を読まれた方から、新たに貴重な情報をいただきました。

伊吹山登山が始まった昭和23年に参加された方は、電車で名古屋まで行き、汽車に乗り換えて近江長岡駅で降りて、そこから歩いて登ったと教えていただきました。

昭和35年に伊吹山登山に参加された方からは、伊吹山のふもとまでバスで行き、当時書いた日記をもとにバスの経路や伊吹山スキー場から登り始め、徐々に登山道が狭くなっていく様子を教えていただきました。

また、昭和26年に伊吹山の山頂で撮影した写真もお寄せいただきました。

貴重な情報をお寄せいただき、ありがとうございました。

町史編さん講座

「戦後の暮らし」の中からテーマを決め、お話をいたします。

新しい町史に記録として残していく内容となりますので、多くの方にご意見をいただく場に行いたいと考え

ています。

後半は、毎回好評の「日記を読み解く⑧」。大口に住む男性の残した日記のうち、昭和20年前後の一部分を読み解いていきます。

歴史や町史作りに興味のある方はぜひお越しください。

日時 1月25日(土)

午前10時から正午

場所 中央公民館 視聴覚室

定員 60名程度

講師 愛知学院大学 文学部教授

後藤致人さん

※事前申し込み、受講料は不要です。

問合せ先

町史編さん室 ☎95-3464



▲昭和26年7月26日撮影

災害対策訓練

3月1日(日) ※雨天決行

場所 扶桑文化会館

内容

第1部 講演「テロ災害について」

※入場整理券が必要です。

午前9時30分から

(一社)日本防災教育訓練センター

代表理事 サニーカミヤさん

第2部 災害対策訓練(見学自由)

午前10時30分から11時30分

※入場整理券は1月15日(水) 午前10時から

丹羽消防署、扶桑文化会館にて配布します。

入場
無料

扶桑
文化会館に
集結



講師 サニーカミヤさん

元福岡市消防局でレスキュー隊小隊長、元国際緊急援助隊員。人命救助者数は1500名を超える。

- 大口町消防団
- 扶桑町消防団
- 近隣市町消防本部
- 愛知県防災航空隊
- 名古屋市消防局消防航空隊
- さくら総合病院
- 尾北看護専門学校
- 犬山警察署
- 丹羽消防署 他

主催 犬山警察署、丹羽消防署 共催 扶桑町、大口町 問合せ先 丹羽消防署 警防課 ☎95-5151